

多数の取得経験あり！発現・培養・精製条件を探索検討いたします 組換え体タンパク質の発現・精製受託サービス

cDNA クローニングから組換え体タンパク質発現ベクターの構築、タンパク質発現、精製までトータルサービスをご提供いたします。

目的タンパク質の用途に合わせて宿主 (*E. coli*, 酵母, 昆虫細胞, 動物細胞) を選択します。新規クローン, または発現実績のない遺伝子については各宿主にて並列でトライアル培養し, 最適な発現系を選択します。

※活性, 構造の保証はできません。

- Gene 情報 (GenBank の Accession No. または配列) のみでタンパク質の使用目的に合わせた試験計画をご提案します。
- 大腸菌, 酵母, 昆虫細胞, 動物細胞の系を同時に発現・比較検討可能です。
- 検討後の新たなプロトコールはすべてお客様のものとなります。

	大腸菌・酵母	バキュロウイルス	動物細胞	安定発現細胞株
発現量目安	1~10 mg/L	0.1~数 mg/L	0.01~1 mg/L	0.1~数 mg/L

大腸菌・酵母

- codon usage 最適化を行います。
- より可溶性発現しやすい誘導条件, 培養条件を探索します。
- 不溶性画分発現タンパク質のリフォールディングを行います。
- 数百 ml~10 L 培養・精製に対応可能です。

■酵母の特長

- 比較的分子量が大きいタンパク質を可溶性タンパク質として発現させることができます。
- 真核生物に近いタンパク質が得られます。
- 動物細胞よりウイルス混入などの危険が低減されます。

遺伝子組換えバキュロウイルス (昆虫細胞)

- 発現量は動物細胞を大きく上回りながら動物細胞に近い修飾されたタンパク質取得が可能です。
- Trial 培養・精製~数 L 培養まで承ります。

作業工程

1. 発現ベクター構築(cDNA の発現ベクターへの挿入, 配列確認)*
 2. 発現条件検討 (定性試験)
 3. 2. の中から良かった条件で Trial 培養
 4. Trial 精製 (アフィニティ精製/SDS-PAGE/ウェスタンブロット)
 5. オプション: ゲルろ過カラムまたはイオン交換カラム精製
 6. 中間報告書提出 (SDS-PAGE, ウェスタンブロット, 収量の報告)
 7. 収量から必要な培養量を計算し, 本培養を実施
 8. 本精製
- * 昆虫細胞での発現系の場合, ベクター構築後にバキュロウイルス作製を行います。

ご注文方法/価格

詳細は, 当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。

[メーカー: YNK]



細胞培養・再生医療研究カタログ 2021-2022

A4 サイズ, 約 260 ページ

無料配布中です!



発刊カタログのご案内

製品紹介はもちろん, 細胞培養・凍結保存・起眠方法などのプロトコル, 製品に関する FAQ も充実!

▶ カタログ送付のお申し込み

営業担当 sales@funakoshi.co.jp

Web ページ番号 66622

